

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

第31号 令和2年9月



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
http://konagayajunji.web.fc2.com/
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp

facebook

小長谷順二 検索

仲秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。令和2年9月定例会は、令和元年度伊豆市一般会計・特別会計の決算認定や、令和2年度伊豆市一般会計・特別会計補正予算、条例制定・一部改正など、多くの議案が上程され、本会議の質疑を経て、常任委員会、連合審査会の審議の結果、原案の通り可決・認定されました。

令和元年度伊豆市一般会計の収支概要は、歳入総額193億8,735万円に対して、歳出総額は183億3,968万6,000円で差し引き10億4,766万4,000円になりますが、翌年の繰り越し財源を差し引くと実質収支額は7億3,411万2,000円となりました。

今後の政策課題をみると、コロナ禍による財政支援や災害復興の経費など、今まで以上の財政需要の拡大が予想されるので、財政状況の健全化判断比率を注視しつつ、市民が期待し持続成長する「伊豆市の将来像」を明示し、効果的な政策が実現される事を願っています。

令和2年9月定例会 一般会計補正予算(第6回)

歳入歳出予算の総額に15億6,870万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ234億7,270万円とする。

.....(おもな事業).....

- 行政無線デジタル設備管理事業.....5億9,858万7千円
- GIGAスクール推進事業.....4億195万5千円
- 市内公的病院等補助金.....2億2,616万9千円
- 生活保護運営事業.....2,724万8千円
- PCB運搬処分業務委託料.....2,654万8千円
- 地域づくり推進事業(中大見協議会).....401万円
- 感染予防事業(ロタウイルス).....255万円
- 美しい伊豆創造センター負担金.....199万円

松を守り、再検討を求める!

7月20日の土肥松原公園津波避難複合施設の市民説明会において、建設予定地(案)が示されました。

大小約50本の松を伐採し、海に面した「三日月プール」付近に建設したい旨の説明があり、多くの参加者からたくさんの松を伐採する案に反対の声が上がりました。

先人の知恵として植えられた松原公園の松林は、海風の強風から地域を守り、夏には天然のクーラーとして住民・観光客に愛されてきました。命を守り、まちを活性化させる複合施設は必要なので、建設場所の複数案を示し、再検討するように求めています。

国・県と協力のもと、土肥地区の安全・安心そして、住民・観光客に喜ばれる土肥特産市「ありがとう」の拡大版として、公園全体の整備と「松原公園津波避難複合施設」の建設を求めています。



松原公園 新松原駐車場

森良雄議員の不規則発言

森議員の修善寺南小学校のトイレについての一般質問において、教育長から「虐待」発言の撤回を求める要求があったことから、議会運営委員会では、「虐待」の事実確認のため8月25日に学校へ出向き、職員にお話を伺いました。

現状確認時のトイレの匂いは気になるものではなく、トイレに関する教員の指導による「児童虐待」の事実も見当たらない事から、森議員の「虐待」発言は、地方自治法や伊豆市議会議員政治倫理条例に規定する「議員の発言は、確たる事実に基づいて行うこととし、虚偽の事実により他人の名誉を毀損する行為をしてはならない」に該当するので、本人に撤回を求めましたが従わない為、議長が会議録からの削除を告げました。

伊豆スカイラインC.C. 陳情書

伊豆市長は、令和2年1月8日付けで県知事に対し、「当該事業の環境に対する影響は著しいものになる恐れがあるため、環境影響評価その他の手続きを求める」意見書を提出しましたが、伊豆スカイラインC.C. 発電所設置説明会に於いて事業者は、環境影響評価に異議申し立てを行い、12月からの工事着工を表明していることから、県知事に対し改めて市長の意見を尊重し環境影響評価の履行を求める意見書が住民から提出されました。

太陽光パネル10万枚の設置の問題は、河川、飲料水、アユの生息等の自然環境に重大な影響を及ぼす恐れがあり、その影響を客観的、科学的に検証し、その対策が適当な方法なのかについて環境影響評価を行うことは不可欠と判断し県知事に対し伊豆市議会として意見書の提出を行いました。



伊豆スカイラインC.C.

小長谷順二の一般質問（9月定例会 令和2年8月24日）

1. With コロナ・ポストコロナがもたらす新しい生活様式

Q 新型コロナウイルス感染症の急激な拡大とそれへの対応は、「新しい生活様式」の誘因となり、われわれの生活・社会・経済をも変えるおおきな転換点になってきています。

「With コロナ・ポストコロナ」の時代にどのように経済社会を営んでいくかが問われているので、伊豆市の新しい生活様式の取り組みについて伺います。

A 感染防止と経済活動という、アクセルとブレーキのバランスを図ることは非常に悩ましい課題ですが、市民の健康と安全に向けた効果的な感染防止策を講じつつ「With コロナ」を前提とした事業の継続に向けた社会経済活動との両立をしっかりと図る必要があると考えています。

今後のまちづくりもオンラインやICTを導入することはとても有益なことだと考えています。

移住相談のオンラインの対応も始めており、対面での相談やオンラインの相談などハイブリッド化した形での施策がこれから増えてきます。今後は5Gを活用した国の総合戦略で我々の取り巻く環境は日々変化してくるので医療や介護、産業などのあらゆる分野でICTを活用した「新しい生活様式」に対応していきたい。

意見 新型コロナウイルスで生活が大きく変わりました。自宅でリモートワークやリモート会議の日々を送ることで「仕事はどこでもできる」との気付きも得たので、東京一極集中を是正していく大きなチャンスとして、前向きな伊豆市移住の生活様式「伊豆市モデルを作成」し当市に移住するメリットをリストアップして移住政策に取り組んでいただきたい。



伊豆市の新しい生活様式

2. 台風シーズンを迎える避難所運営

Q 新型コロナウイルスによって避難のあり方も「分散避難」重視へと変わりつつあります。独自に「避難所運営方針」策定に動く自治体では、避難者が密接しないスペースを確保するため、発生が予測される災害と避難者数などを事前に把握し、「臨時避難所」も含め、できる限り多くの避難所を選定・確保するよう促しています。台風シーズンを迎える避難所運営について伺います。

A 分散避難の検討状況は、感染拡大防止の協力をお願いするために、「避難に関する知っておくべき6つのポイント」、そして「避難行動判定フロー」、こちらのリーフレットを作成し、先月の広報7月号やホームページにて市民の方に分散避難を含め、あらかじめ感染予防を意識した備えや避難行動についてお知らせしてございます。避難所での密を少しでも避けるために、避難所以外への在宅避難、親戚・知人宅への避難、そして車中避難などの分散避難の検討をお願いしているところです。

また、土肥地区ではもともと大規模地震の際の避難所として旅館・ホテルが使えないのか、というような検討をしていた経緯もございますので、土肥地区で旅館組合と分散避難としての利用ができないかという協議をさせていただいております。

意見 感染予防対策の避難所運営は、具体的に避難所運営方針に示したうえでいろいろな立場の人が参加して研修会や訓練を行う必要があります。

9月17日に土肥温泉旅館組合と伊豆市に於いて災害時における宿泊施設の提供等に関する協定の締結を行いましたので、住民にしっかりと周知し、分散避難の柱として市内に普及することを願っています。



宿泊施設提供協定書の調印式

第30回

小長谷順二 市政報告会開催

令和2年10月22日(木)PM7時～ 土肥支所 4F集会室

集会や会議等の自粛で急遽開催を見送ることもございますので、事前にお問い合わせをお願いします。

この夏、全国の海水浴場で閉鎖が相次ぐ中、例年通り「土肥海水浴場」は開設されました。コロナ禍でライフセーバーの確保が思うように出来ず、例年より期間を短くしての開設となりましたが、ライフセーバーの不在日は、地元有志や観光協会の役員、カヌークラブなどのボランティアによる「監視補助員」が大活躍しました。おかげ様で事故もなく無事に夏を乗り切ることができました。